

編集後記

いうまでもなく政策研究においては、提示された政策案がもたらす効果や影響を主題とする記述的分析が有用です(その数学的定式化は経済学が得意とするところです)。ただし、そのような分析は、ひとの行動様式や社会環境に関する無数の想定を必要とします。これらの想定をより現実的なものにするためには、ひとや社会のあり様(よう)をより正確に捉え記述する研究が欠かせません(社会学や心理学の知見が活躍します)。本号で紹介された規範理論は、これらのいずれの研究からもはみ出るものです。多彩な専門分野にある著者たちに通底する問題関心は、ひとの「あろうとしている姿」を見つめ、「政策のあり方」を再考することにあります。皆さまの率直な感想やご批判を心よりお待ちしております。(R.G.)

編集委員長

阿藤 誠 (国立社会保障・人口問題研究所長)

編集委員

岩村正彦 (東京大学教授)

岩本康志 (一橋大学教授)

遠藤久夫 (学習院大学教授)

菊池馨実 (早稲田大学教授)

新川敏光 (北海道大学教授)

田近栄治 (一橋大学教授)

永瀬伸子 (お茶の水女子大学助教授)

平岡公一 (お茶の水女子大学教授)

山崎泰彦 (上智大学教授)

植村尚史 (国立社会保障・人口問題研究所副所長)

中嶋 潤 (同研究所・総合企画部長)

府川哲夫 (同研究所・社会保障基礎理論研究部長)

松本勝明 (同研究所・社会保障応用分析研究部長)

編集幹事

後藤玲子 (同研究所・総合企画部第2室長)

東 幸邦 (同研究所・社会保障基礎理論研究部第1室長)

大石亜希子 (同研究所・社会保障基礎理論研究部第2室長)

加藤久和 (同研究所・社会保障基礎理論研究部第4室長)

小島克久 (同研究所・社会保障応用分析研究部第3室長)

泉田信行 (同研究所・社会保障応用分析研究部研究員)

宮里尚三 (同研究所・社会保障応用分析研究部研究員)

周 燕飛 (同研究所・客員研究員)

季刊

社会保障研究 Vol. 38, No. 2, Autumn 2002 (通巻 157号)

平成14年9月25日 発行

編集

国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号

日比谷国際ビル6階

電話 (03) 3595-2984

<http://www.ipss.go.jp>

制作 (株)UTP制作センター